

令和7年度小松川第二中学校の評価・評定について

令和7年4月  
小松川第二中学校 進路指導部

(1) 評価方法

【絶対評価】を実施  
学習の到達目標を定めて、個々の生徒の学習が、その目標をどこまで達成できたかを明らかにする評価方法。

(2) 小松川第二中学校における評価の具体

- ① 評価の観点を明確にする（年度当初に教科ごとに評価材料を検討する）  
学習指導要領に示される目標に照らして、教科ごとの到達状況を評価する。  
評価は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態つ」の観点についてA～Cの3段階で行う。
- ② 達成の程度を重視した絶対評価から評定へ

| 【 観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 】 |           | 【 評 定 】 |                       |
|-------------------------|-----------|---------|-----------------------|
| A                       | 十分満足できる   | 5       | 十分満足できるもののうち特に程度の高いもの |
| B                       | おおむね満足できる | 4       | 十分満足できる               |
| C                       | 努力を要する    | 3       | おおむね満足できる             |
|                         |           | 2       | 努力を要する                |
|                         |           | 1       | 一層努力を要する              |

③ 達成値と評価・評定の設定

| 【 観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 】 |                     |     |
|-------------------------|---------------------|-----|
| 達 成 値                   | 観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 | 評 価 |
| 80%以上                   | 十分満足できる             | A   |
| 50%以上80%未満              | おおむね満足できる           | B   |
| 50%未満                   | 努力を要する              | C   |

| 【 評 定 】    |                       |     |
|------------|-----------------------|-----|
| 達 成 値      | 学 習 の 達 成 状 況         | 評 定 |
| 90%以上      | 十分満足できるもののうち特に程度の高いもの | 5   |
| 80%以上90%未満 | 十分満足できるもの             | 4   |
| 50%以上80%未満 | おおむね満足できるもの           | 3   |
| 20%以上50%未満 | 努力を要するもの              | 2   |
| 20%未満      | 一層努力を要するもの            | 1   |

・評価できない観点があるときには、斜線が表示されることがあります。